

# 珪藻・ハプト藻の増殖に！！

## 藻類培養液

# KW21

## 海水強化タイプ

### 特長

- ① 各種栄養塩を吸収しやすい形で一液化していますので、面倒な培養液調合の手間をとらせません。
- ② 複合アミノ酸・複合ビタミンを使用していますので、安定した増殖を行うことができます。
- ③ 増殖後のピーク濃度を長く保持しますので、使いやすく安心です。
- ④ 海苔糸状体用「たから培養液」よりも微小藻類の増殖性能が高く、「たから培養液」の約2倍の高濃度製剤になっています。

### 内容成分

窒素(Nとして)49g/L、りん酸(Pとして)4g/L、ほう素、マンガン、鉄、亜鉛、コバルト、EDTA、複合アミノ酸、複合ビタミン(B1、B12、ビオチン他)

### 対象藻類

- 浮遊珪藻(キートセロス)、付着珪藻(ナビキュラ、ニッチア等)
- ハプト藻(パプロバ、イソクリシス)、プラシノ藻(テトラセルミス)、ナンノクロロプシス
- アオサ等、他の大型藻類にも使用されています。

### 使用方法

- ① 海水1Lあたり下表のKW21を添加して下さい。(注)培養条件により最適濃度は多少変わります。  
(注)KW21は、基本的に2,000倍程度に希釈して使用する設計となっておりますが、培養する藻の種類や培養条件により最適濃度は多少変わります。特に元種の保存培養では、長時間維持のため1,000倍で使用されている場合が多いようです。
- ② 珪藻培養には、ケイ酸栄養剤「ゲルカルチャー」、メタ珪酸ナトリウムまたは水ガラスを併用して下さい。
- ③ 培養環境や藻類の増殖速度により添加量は加減してください。

	海水1Lあたり	
	KW21	メタ珪酸ナトリウム
浮遊珪藻	0.5ml(0.5~1.0ml)	45mg(30~90mg)
付着珪藻	0.1ml(0.05~0.1ml)	45mg(30~90mg)
ハプト藻・プラシノ藻	0.5ml(0.3~1.0ml)	—

### 補足

「KW21」は、各種ビタミンやアミノ酸を配合した総合培養液です。  
豊富に含まれるビタミンやアミノ酸は、バクテリア類の栄養源にもなります。培養に用いる海水にある程度以上のバクテリアが含まれていると、藻類が増殖する前にバクテリアが増殖し、海水の白濁などを引き起こす場合があります。  
このケースでは、使用海水のろ過、加熱または殺菌による清浄化をお勧めします。